

F S Cグループ認証監査規定第5条に基づき、書類及び現地監査を行いましたので報告します。

記

1. 各メンバーの森林管理状態のチェック

美幌町・・・4名 面積 1,306.17ha
(株)新宮商行・・・1名 面積 1,234.92ha

【意見書】

各メンバーとも森林管理方針・森林管理計画書に基づき適正に管理していることを確認した。

2. 各メンバーの森林施業内容のチェック

【意見書】

各メンバーとも森林経営計画を樹立しているものであり、森林施業基準に基づくとともに、森林認証(グループ)参加協定書のとおり、実施されていることを確認した。

3. チェックリストを用いたチェック

【意見書】

環境影響評価表及び森林施業後のモニタリング用チェックリストに基づき 監査（書類及び現地）した結果、森林管理方針に基づき環境・社会・経済等に考慮し適正に実施されていることを確認した。

令和2年7月10日

グループ認証管理責任者

美幌町長 平野浩司様

監査チーム

美幌町 耕地林務主幹
(株)新宮商行 山林課長

中沢浩喜
竹川和也



監査チェックリスト

改 正 令和 元年 6月21日管理責任者承認
改 正 平成27年 6月15日管理責任者承認
作 成 平成16年10月15日管理責任者承認

※ 監査年月日
令和2年7月10日

メンバー名	美幌町
監査員名	中沢浩喜、竹川和也

チェック項目

- 1 国内法を守り森林管理をしているか。
- 2 政府及び地方行政に対し、税金または料金を全て支払っているか。
- 3 国際的取り決めを守っているか。
- 4 不法伐採等の違法な行為を行っていないか。
- 5 森林管理方針に基づき実施されているか。
- 6 間伐・主伐等の実施については、各手続きが取られているか。
- 7 土地所有の台帳が整備されているか。
- 8 資格リストが作成され、免許のコピーが保管されているか。
- 9 安全作業心得及び作業の安全手順が整っているか。
- 10 労働安全衛生委員会が実施されているか。
- 11 救急箱が整理されているか。
- 12 作業チームの班長は、森林資源への影響を最小化するためにミーティングを行っているか。
- 13 収穫時の利用材及び残材の取扱いについて、収穫マニュアル通りに実施されているか。
- 14 地域社会に配慮した管理計画を実施しているか。
- 15 地域からの苦情はないか。
- 16 森がもたらす様々な資源を最大限に利用しているか。
- 17 森からの生産物を収穫しすぎることなく、適正に収穫が実施されているか。
- 18 環境影響軽減マニュアルに基づき、環境評価を間伐・主伐等の作業前に実施しているか。
- 19 貴重な植物を守り作業が実施されているか。
- 20 環境的機能の維持に必要な生物多様性を確保するために、必要に応じた天然林の保全に努めているか。
- 21 自然環境に優れた保護をしているか。
- 22 森林施業ガイドラインによるモニタリング用チェックリストの基で実施されているか。
- 23 廃棄物及び化学物質の容器等の処理方法は、手順書の通り実施されているか。
- 24 植栽については、土地に合った樹種を選定しているか。
- 25 人工林の形成が自然の森に影響を及ぼさないように、森林管理がされているか。
- 26 森林管理を行う区域の自然生態系は、配慮されているか。
- 27 動植物の構成・景観及び観測された変化はないか。
- 28 管理計画目標の実施状況、進捗は順調であるか。（別紙）
- 29 高い保護価値への保護計画は適切に実施されているか。
- 30 保護対象とその対象地域の状態及びに、保護価値を下げるような変化はないか。
- 31 保護価値を維持向上させるべき保護計画は効果を発揮しているか。
- 32 伐採後、管理計画に従い適切に更新を行っているか。
- 33 外来種の生育状況に変化はないか。（認証エリア内外を問わず）
- 34 遺伝子組み換えによって作られた生物を使用していないか。
- 35 当該年度実施の森林整備作業の結果は良好であるか。
- 36 禁止されている肥料及び農薬の使用はないか。
- 37 肥料及び農薬の使用の際には最小限とし、河川など多面的に悪影響を及ぼしていないか。

- ☑ 38 生物防除の使用の際には国際的に認められた取り決めに従い、最小限とし生態系など多面的に悪影響を及ぼしていないか。
- ☑ 39 自然災害による被害状況と影響。
- ☑ 40 以下に関する記録はあるか。
 - ☑ 労働者の権利、活動
 - ☑ 男女平等、セクシャルハラスメント、性別による差別
 - ☑ 労働災害、安全衛生活動・教育（ボランティア等含む）
 - ☑ 賃金の支払い
 - ☑ 労働者の健康診断（農薬使用者含む）
 - ☑ 先住民族、地域社会に関する
 - 先住民族、地域社会の情報
 - 法的・慣習的権利
 - 協議録
 - 関係者との契約（取り決め等）の履行状況
 - 特別な意味を持つ場所の保護状況
 - ☑ 伝統知識・知的財産の使用
 - ☑ 地域の経済・社会状況
 - ☑ 地域経済活性化のための多様な林産物や便益の利用生産
 - ☑ 森林の多面的機能の維持
 - ☑ 生態系サービスの保全活動
 - ☑ 木材及び非木材林産物の年間収穫予定量と実績、年間成長量との比較
 - ☑ 地元の加工施設、サービス、付加価値づけ施設、サービスの利用
 - ☑ 予算、財務状況、財務計画
 - ☑ 先住民族、地域社会のとの中で特定した、生活に欠かせない HCV
 - ☑ 先住民族、地域社会のとの中で特定した、世界的・国家的規模で、文化的・考古学的・伝統文化的・宗教的・精神的に重要な場所・資源・生息域・景観
- ☑ 41 効果を謳っている生態系サービスに変化はないか。
- ☑ 42 特用林産物等の資源に変化はないか。
- ☑ 43 様々な立木調査結果から生育等に変化はないか。
- ☑ 44 多面的機能を保護し悪影響を回避、低減できているか
- ☑ 45 発見された希少生物の生息及び生息域の状況に変化はないか。
- ☑ 46 保護林に変化はないか。
- ☑ 47 在来種に変化はないか。
- ☑ 48 河川等に水質・水量の変化はないか。
- ☑ 49 伐採等により景観の大きな変化はないか。
- ☑ 50 転用等の土地利用変化はないか。
- ☑ 51 1994年以降拡大造林された人工林はないか。
- ☑ 52 HCVの保全状況に変化はないか。

監査指摘事項処理表

1. 監査指摘事項

2. 指摘事項への対応

3. 対応状況の確認（次回監査時）

上記のとおり対応し完了したことを確認した。

令和 年 月 日

監査員署名

監査員署名

監査チェックリスト

改正 令和 元年 6月21日管理責任者承認
改正 平成27年 6月15日管理責任者承認
作成 平成16年10月15日管理責任者承認

※ 監査年月日
令和2年7月10日

メンバー名	株式会社 新宮商行
監査員名	中沢浩喜、竹川和也

チェック項目

- 1 国内法を守り森林管理をしているか。
- 2 政府及び地方行政に対し、税金または料金を全て支払っているか。
- 3 国際的取り決めを守っているか。
- 4 不法伐採等の違法な行為を行っていないか。
- 5 森林管理方針に基づき実施されているか。
- 6 間伐・主伐等の実施については、各手続きが取られているか。
- 7 土地所有の台帳が整備されているか。
- 8 資格リストが作成され、免許のコピーが保管されているか。
- 9 安全作業心得及び作業の安全手順が整っているか。
- 10 労働安全衛生委員会が実施されているか。
- 11 救急箱が整理されているか。
- 12 作業チームの班長は、森林資源への影響を最小化するためにミーティングを行っているか。
- 13 収穫時の利用材及び残材の取扱いについて、収穫マニュアル通りに実施されているか。
- 14 地域社会に配慮した管理計画を実施しているか。
- 15 地域からの苦情はないか。
- 16 森がもたらす様々な資源を最大限に利用しているか。
- 17 森からの生産物を収穫しすぎることなく、適正に収穫が実施されているか。
- 18 環境影響軽減マニュアルに基づき、環境評価を間伐・主伐等の作業前に実施しているか。
- 19 貴重な植物を守り作業が実施されているか。
- 20 環境的機能の維持に必要な生物多様性を確保するために、必要に応じた天然林の保全に努めているか。
- 21 自然環境に優れた保護をしているか。
- 22 森林施業ガイドラインによるモニタリング用チェックリストの基で実施されているか。
- 23 廃棄物及び化学物質の容器等の処理方法は、手順書の通り実施されているか。
- 24 植栽については、土地に合った樹種を選定しているか。
- 25 人工林の形成が自然の森に影響を及ぼさないように、森林管理がされているか。
- 26 森林管理を行う区域の自然生態系は、配慮されているか。
- 27 動植物の構成・景観及び観測された変化はないか。
- 28 管理計画目標の実施状況、進捗は順調であるか。(別紙)
- 29 高い保護価値への保護計画は適切に実施されているか。
- 30 保護対象とその対象地域の状態及びに、保護価値を下げるような変化はないか。
- 31 保護価値を維持向上させるべき保護計画は効果を発揮しているか。
- 32 伐採後、管理計画に従い適切に更新を行っているか。
- 33 外来種の生育状況に変化はないか。(認証エリア内外を問わず)
- 34 遺伝子組み換えによって作られた生物を使用していないか。
- 35 当該年度実施の森林整備作業の結果は良好であるか。
- 36 禁止されている肥料及び農薬の使用はないか。
- 37 肥料及び農薬の使用の際には最小限とし、河川など多面的に悪影響を及ぼしていないか。

- ☑ 38 生物防除の使用の際には国際的に認められた取り決めに従い、最小限とし生態系など多面的に悪影響を及ぼしていないか。
- ☑ 39 自然災害による被害状況と影響。
- ☑ 40 以下に関する記録はあるか。
 - ☑ 労働者の権利、活動
 - ☑ 男女平等、セクシャルハラスメント、性別による差別
 - ☑ 労働災害、安全衛生活動・教育（ボランティア等含む）
 - ☑ 賃金の支払い
 - ☑ 労働者の健康診断（農薬使用者含む）
 - ☑ 先住民族、地域社会に関する
 - 先住民族、地域社会の情報
 - 法的・慣習的権利
 - 協議録
 - 関係者との契約（取り決め等）の履行状況
 - 特別な意味を持つ場所の保護状況
 - ☑ 伝統知識・知的財産の使用
 - ☑ 地域の経済・社会状況
 - ☑ 地域経済活性化のための多様な林産物や便益の利用生産
 - ☑ 森林の多面的機能の維持
 - ☑ 生態系サービスの保全活動
 - ☑ 木材及び非木材林産物の年間収穫予定量と実績、年間成長量との比較
 - ☑ 地元の加工施設、サービス、付加価値づけ施設、サービスの利用
 - ☑ 予算、財務状況、財務計画
 - ☑ 先住民族、地域社会のとの中で特定した、生活に欠かせない HCV
 - ☑ 先住民族、地域社会のとの中で特定した、世界的・国家的規模で、文化的・考古学的・伝統文化的・宗教的・精神的に重要な場所・資源・生息域・景観
- ☑ 41 効果を謳っている生態系サービスに変化はないか。
- ☑ 42 特用林産物等の資源に変化はないか。
- ☑ 43 様々な立木調査結果から生育等に変化はないか。
- ☑ 44 多面的機能を保護し悪影響を回避、低減できているか
- ☑ 45 発見された希少生物の生息及び生息域の状況に変化はないか。
- ☑ 46 保護林に変化はないか。
- ☑ 47 在来種に変化はないか。
- ☑ 48 河川等に水質・水量の変化はないか。
- ☑ 49 伐採等により景観の大きな変化はないか。
- ☑ 50 転用等の土地利用変化はないか。
- ☑ 51 1994 年以降拡大造林された人工林はないか。
- ☑ 52 HCV の保全状況に変化はないか。

監査指摘事項処理表

1. 監査指摘事項

2. 指摘事項への対応

3. 対応状況の確認（次回監査時）

上記のとおり対応し完了したことを確認した。

令和 年 月 日

監査員署名 _____

監査員署名 _____

平成31年伐採及び植栽実績

連年生長量	8,706m ³	植栽面積	24.73ha
伐採量	6,452m ³ 内訳 主伐：3,875m ³ 間伐：2,577m ³		内訳 再造林 24.73ha
収穫量 (伐採量×0.7)	4,516m ³	植栽樹種	カラマツ : 21.45ha トドマツ : 0.28ha シラカンバ : 1.00ha ミズナラ : 1.00ha ヤチダモ : 1.00ha